



寒い日が続き、子どもたちはひんやりとした空気を肌で感じたり、吐く息の白さを楽しんだり、小さな体で季節を感じています。乾燥が気になる時期なので、引き続き体調管理に気を付けていきたいと思います。

- 今月のねらい**
- ・生活の中での基本的な生活習慣を意欲的に行っていく。
 - ・色々な素材や材料に触れ、制作することを楽しむ。

どんな気持ち？

心の育ちが大きく見られる4歳児クラス。多くの言葉を知っていく中で子ども同士のコミュニケーションも増え、友だちとの関わりがより一層深くなってきました。みどり組では、サークル活動の時間を使って「言葉について」の話をしました。

まずは、『ちくちく言葉』です。言われて嫌な気持ちになり、心をちくちく刺すような悲しい言葉ってなんだろう？ “もう遊ばない、あっちいけ、ばか、お前、きらい”など、たくさんの言葉が出てきました。

次に『ふわふわ言葉』です。言われて幸せな気持ちになり、心が温まって笑顔になるような嬉しい言葉ってなんだろう？ “一緒に遊ぼう、大丈夫？、ありがとう、だいすき”など、こちらもたくさんの言葉が出てきました。改めて考えてみると、ちくちく言葉を多く使ってしまったことに気が付いた子どもたち。サークル活動後、さっそくふわふわ言葉を使って声をかけ合う姿が見られました。

怒りたい気持ちや悲しい気持ちの時はちくちく言葉を使いたくなる時もあると思います。そんな時は、少しでも言葉について話し合った時間を思い出して、“ちくちく言葉”を“ふわふわ言葉”に変えてみたり、相手は今“どんな気持ち？”と考えてみたり、保育士や友だちに助けを求めてみたりと、心温まる姿が増えていけばいいなと思います。

鬼だ！節分だ！豆まきだ！

2月3日の節分に向けて『鬼の帽子作り』を行いました。好きな色のカラーポリ袋を選んだら、紙や毛糸、輪ゴム、テープなど、様々な素材を使って角を作ったり、髪の毛をつけてみたりと、カラフルでユニークな帽子ができあがりました。

今回の制作を機に、紙類だけでなく、廃材や毛糸など、様々な素材にも触れていきたいと思います。



節分の絵本紹介

色々な性格の鬼が登場し、豆まきでお腹の中にいる悪い鬼を追い出す絵本『おなかのなかにおにがいる』を読むと、自分たちのお腹の中には“どんな鬼がいるだろう？”とお腹を確認する子どもたち。「僕は甘えん坊かな」「私は泣き虫かも」と会話を弾ませていました。自分ってどんな人だろう？と知るキッカケにもなる絵本。

お腹の中に悪い鬼がいないか探してみてください。

〔作：小沢孝子 絵：西村達馬〕
〔出版社：ひさかたチャイルド〕

